

2026年度版

医療DX

令和ビジョンの現在地



制度改定・補助金から見える、“先送りが許されなくなる理由”

電子カルテの導入を「いつかやること」として先送りしていませんか。
2026年、電子カルテを取り巻く外部環境は静かに、しかし確実に変わっています。医療情報システムの安全管理ガイドライン6.1版の改定、国の認定制度の施行、そして診療報酬改定における電子カルテ前提の設計。国は医療情報を循環・連携させる基盤として、電子カルテをインフラと位置づけ、整備を加速しています。
未導入のまま時間が経つほど、加算の取り逃し・補助金機会の喪失・人材採用面での競争力低下など、経営への影響は静かに積み重なっていきます。一方で、今動けば活用できる補助金や制度的な追い風が確かに存在します。本講演では、医療ITコンサルタントの立場から国策動向と補助金の最新情報を整理し、中小規模病院の経営者・事務長が「いつ・なぜ動くべきか」を判断するための視点をお伝えします。



2026. **7.22** 水
17:30 > 18:40



オンライン配信

※インターネット環境を利用して受講いただけます。
病院/ご自宅/外出先などあらゆる場所からご参加いただけます。



配信終了後アーカイブ配信いたします

2026.7.30 木 10:00

2026.8.20 木 18:00



講師

アクレインシステム株式会社
代表取締役 堀江 宙

Agenda

Session1

はじめに -電子カルテ化を「先送り」してられない理由とは

- ① 今さら聞けない「医療DX」の本質
- ② 医療DX令和ビジョン2030～これまでの歩みと政策の意図～
- ③ 2025年度、医療現場は何が変わったのか
～制度・診療報酬改定から読み解く国の本音～
- ④ 制度はどこへ向かうのか～今後予測される変化と医療機関への影響～
- ⑤ 補助金動向から読み解く、医療DXの経営インパクト
- ⑥ まとめ～なぜ「今」意思決定が求められるのか

Session2

中小規模病院向けクラウド型電子カルテ
「HOPE Smart Cloud Karte」のご紹介



参加費 **無料**



対象 **病院様**



アンケート回答者50名様抽選
500円分 プレゼント



※Amazonギフトカード以外のギフトカードの提供となる可能性がございます。
※本キャンペーンは富士通Japan株式会社による提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしておりません。富士通Japan オンラインセミナー事務局 (contact-clinic@cs.jp.fujitsu.com) までお願いいたします。
※Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
※医療機関にお勤めの方からのお申込が対象です。
※申込時にご入力いただきましたメールアドレスへギフトカード番号を後日メールいたします。対象者へのご連絡は、メール送信をもってかえさせていただきます。

ご参加にあたり事前の申込みをお願いいたします
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/132953>

